

4月21日

港区議会議員選挙

港区の かがやく未来へ この一票

期日前投票について

期間：4月15日(月)～4月20日(土)

時間：午前8時30分～午後8時

場所：各総合支所及び台場分室



Licensed by TOKYO TOWER

みなと白ばらだより 100号



白ばらは明るい選挙のシンボルマークです。



みなと白ばらだより 100号

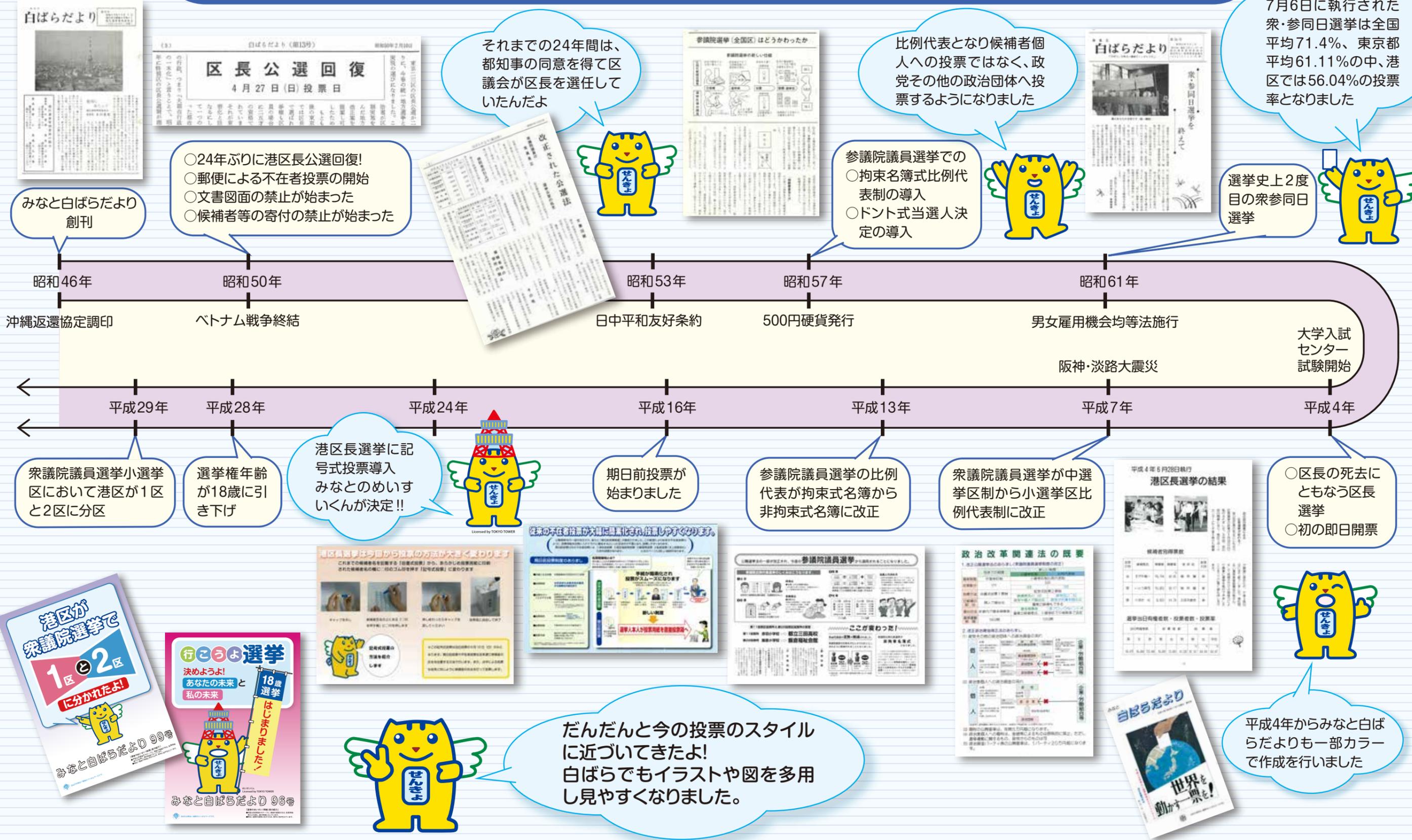


白ばらは明るい選挙のシンボルマークです。

「選挙のめいすい(明推)君の紹介」

- 体型は投票箱をモチーフに、頭部の縦線2本は、投票用紙挿入口を表し、鍵が尻尾になっています。
- 明るい選挙の実現に向かうため、背中に羽が生えています。

みなと白ばらだよりでみる 港区の選挙の歴史





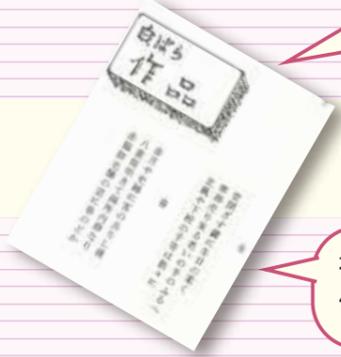
みなと白ばらだよりでみる 港区の啓発の歴史



創刊第1号 (昭和46年10月)



第2号 (昭和47年3月)



創刊当時は写真よりも文章とイラストがメインでした

初期の頃は四コママンガや俳句・短歌も掲載



第11号 (昭和49年6月)

東京都明るい選挙推進大会屋外デモンストレーションに参加した様子を掲載

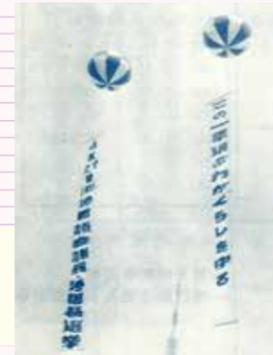
第12号 (昭和49年10月)

ポスターコンクール作品を初めて掲載



第14号 (昭和50年8月)

この年の統一地方選挙はアドバルーンを使って啓発を行いました



第29号 (昭和58年1月)

区民まつりにおいて、ポスターの展示を初めて屋外で行った様子を掲載

第63号 (平成12年1月)

地区で街頭アンケート実施、タオルでウサギを作る講座で啓発を行いました



第54号 (平成7年7月)

選挙のキャラクターが不在の当時、街頭啓発にはパンダちゃんがかけてくれていました



第53号 (平成7年1月)

昭和37年から投票区別に始まったモデル地区活動は、平成2年から地区別での活動となり、活動の幅もだんだん広がっていきました



第46号 (平成3年9月)

地区での啓発活動が昔からさかんな港区では、この頃地区別のリレー形式で記事を掲載



第38号 (昭和62年8月)

街頭啓発ははっぴを着用して元気に!!



第94号 (平成27年11月)



第84号 (平成22年10月)

選挙授業の際にも使用できるような知識もとり入れています



第95号 (平成28年3月)

選挙権年齢が18歳に引き下げられ、小・中・高校生への授業や模擬投票がどんどん活発になりました

第68号 (平成14年7月)

めいすいくんが初登場!



第69号 (平成15年1月)

翌号には写真も掲載



第78号 (平成19年10月)

小・中学生にも見てもらえるようなわかりやすさも意識して作成するようになりました

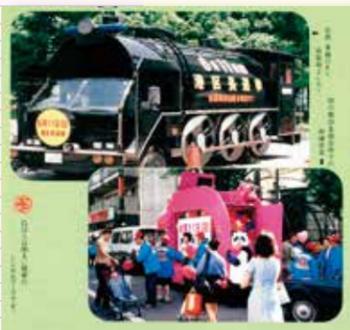


第89号 (平成25年3月)



第64号 (平成12年8月)

だんだん目立つ啓発ができました



アンケート調査を実施しました。



1 調査の目的

港区の選挙の投票率向上に向けた取組の基礎資料とするため、区民の選挙に関する意識などを調査・分析し、必要な情報を収集・整理して、今後の投票率向上に向けた効果的な選挙啓発等事業を推進するため、アンケートを実施しました。

2 調査方法

(1) 調査票発送による郵送アンケート調査

1 対象者

区内に住民登録をしている18歳以上の区民 ※除く外国人

2 調査規模 2,000人

(2) インターネットアンケート調査

1 対象者

区内に在住するインターネットモニター18歳以上の区民 ※除く外国人

2 調査規模 550人

(3) 調査期間

平成30年(2018年)8月1日～8月24日

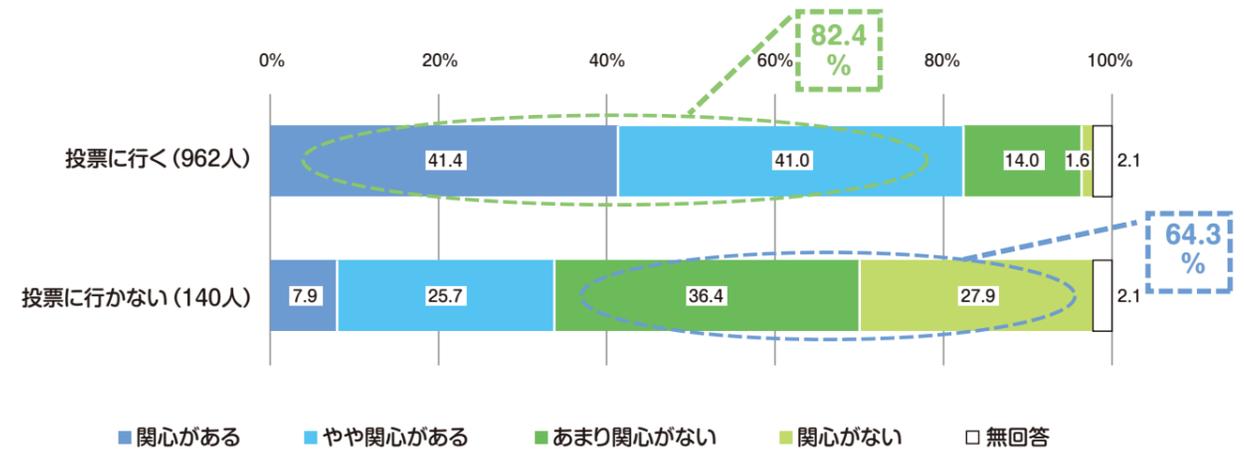
3 アンケート回収結果

調査方法	発送/対象数	回収数	回収率
郵送調査	2,000人	715人	35.8%
インターネット調査	550人	521人	94.7%
合計	2,550人	1,236人	48.5%

※報告書内の集計表やグラフの%表示は「小数点第2位」を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

◎港区の政治に関する関心度

<投票に行く>と<投票に行かない>で比較してみると、顕著に違いが見られる。<投票に行く>と回答している人の【港区の政治に対する】関心度は、「関心がある」と「やや関心がある」を含めると8割以上の方が関心があると回答し、一方で、<投票に行かない>と回答している人は「関心がない」と「あまり関心がない」を含めると6割以上が「関心がない」と回答している。

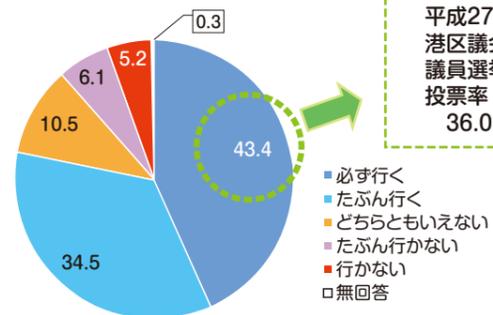


◎次回の選挙への投票意向

今回、実施した調査では、「平成31年(2019年)春の港区議会議員選挙」「平成32年(2020年)夏の港区長選挙」ともに、43.4%が「必ず投票に行く」と回答しており、前回のそれぞれの投票率を上回る結果となった。

平成31年(2019年)春の港区議会議員選挙

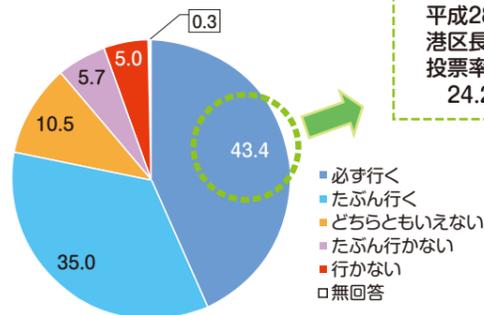
「平成31年(2019年)春の港区議会議員選挙」投票意向



平成27年
港区議会
議員選挙
投票率
36.02%

平成32年(2020年)夏の港区長選挙

「平成32年(2020年)夏の港区長選挙」投票意向



平成28年
港区長選挙
投票率
24.25%

編集後記



◎編集委員

- 野村 智恵子 ●宮林 忠和 ●池田 悦子
- 益田 直子 ●小林 百合子 ●八島 有香子

「みなと白ばらだより」の創刊号からの変遷を見られて面白かったです。創刊当時の俳句や短歌を見て本誌の歴史を感じました。100号の編集に参加でき、とても良い記念になりました。

みなと白ばらだより100号

平成31年(2019年)3月発行
港区明るい選挙推進協議会
港区選挙管理委員会
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話03(3578)2111(代)
発行番号 30260-8511

再生紙を使用しています 港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。